

施設の概要

施設の設計イメージ

建物外観イメージ

里山の自然と風景に調和した建物外観を創出するため、デザインテーマは「山並・川を表現」とし、周辺に調和した山並みを表す曲線の屋根形状です。壁面は、山林を表す縦方向のデザインにより、平滑な壁面に自然の光が映し出す影をつくります。

施設のもつ巨大なボリューム感を、管理棟、リサイクルプラザ棟、焼却施設棟に分節し、全体ボリュームの軽減を図り、分節された各棟の建物低層部は、石積調デザイン等で連続性をもたせまします。また、施設のランドマークは、川をイメージするように、各棟の高さに合わせて施設の前面に3つの階段塔を設け、猪名川の「猪」をモチーフにした逆三日月型デザインで、訪れる人々に施設を印象づけます。

啓発施設と見学ゾーン

豊かな自然に囲まれた施設に訪れる人々が、自然や環境問題について楽しく学習できる総合環境学習エリアとなるように、リサイクルプラザ棟の2階には、啓発施設と見学ゾーンを設けます。

啓発施設は、啓発・学習ロビーに子どもから大人まで誰もが気軽に親しみやすく参加できる環境学習用展示物などを備え、リサイクル工房は、環境に関する体験型学習が行える設備を備え、グループ等でリサイクルの楽しさが味わえます。

また、見学ゾーンは、研修室で施設などの事前学習の後、リサイクルプラザ棟と焼却施設棟をワンフロアで回遊して、ごみ処理施設の仕組みがわかりやすく見学できます。

施設の規模と特長

焼却施設棟

処理能力：全連続ストーカー式焼却炉 235t/日 (117.5t/24h×2炉)
延床面積約12,450㎡ 鉄筋コンクリート造+鉄骨造 (地下1階・地上4階)

リサイクルプラザ棟

処理能力：84t/5h(不燃粗大ごみ、可燃粗大ごみ、缶類、プラスチック製容器包装、ペットボトル)
延床面積約9,370㎡ 鉄筋コンクリート造+鉄骨鉄筋コンクリート造+鉄骨造 (地上4階)

管理棟

延床面積約1,670㎡ 鉄筋コンクリート造 (地上3階)

煙突

高さ59m

循環型社会づくりの拠点

効率的な施設レイアウト

施設の各棟を建物の高さの順に配置し、全施設が効率よく能力を発揮できるよう配慮しています。

信頼性と安全性の確保

焼却炉、クレーン等の機器は、コンピュータや監視カメラによって自動運転されるなど、施設の信頼性を高めます。また、ごみ搬入のための車両管制システムを導入するとともに、ごみ搬入時の事故を防止する転落

防止装置、ピットの火災を未然に防ぐ火災検知装置や自動放水銃等を備え、施設の安全性を確保しています。

資源有効利用

施設屋根面の雨水と建物周辺の初期降雨30mm分は、貯留して処理のあと再利用するとともに、太陽光発電設備による啓発施設への利用など、資源の有効利用に努めています。また、ごみ焼却エネルギーを発電等へ有効利用し、地球温暖化防止に貢献します。

地域社会への貢献

周辺環境との調和

建物は景観を重視し、周辺の豊かな自然環境との調和を図るとともに、屋上庭園の設置や壁面緑化により、うるおいのある空間づくりを実現します。

情報と体験の場

リサイクルプラザは、リサイクルに関する情報発信の拠点として位置付け、さまざまな情報を提供したり、楽しみながら学べる体験型学習施設をめざします。

環境保全対策

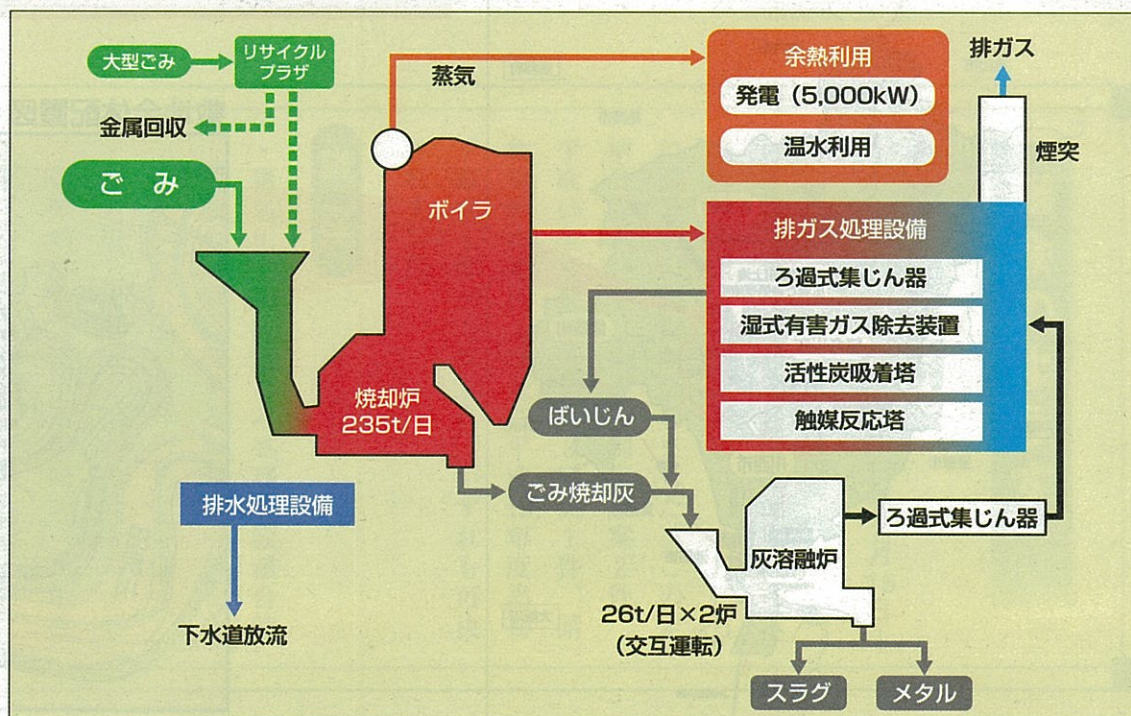
ダイオキシン類対策

ダイオキシン類の発生を抑制するために、完全燃焼・安定焼却が出来る焼却炉を採用し、信頼性の高い燃焼管理を行います。

高性能の排ガス処理設備

排ガス基準の設定基準値をクリアーする高性能の排ガス処理設備を設置し、有害物質を適正かつ高効率に除去するなど、徹底した環境保全対策を行います。

ごみ処理の工程図



焼却施設の排ガス基準

(煙突出口にて乾きガス基準O₂ 12%換算値)

規制項目	設計基準値	法規制基準等
ばいじん	0.01g/Nm ³ 以下	0.04g/Nm ³ 以下
塩化水素	10ppm以下	430ppm以下
硫酸酸化物	10ppm以下	K値規制
窒素酸化物	20ppm以下	250ppm以下
ダイオキシン類	0.01ng-TEQ/Nm ³ 以下	0.1ng-TEQ/Nm ³ 以下
一酸化炭素	30ppm(4時間平均値)以下	30ppm(4時間平均値)以下
総水銀 (Hg)	0.05mg/Nm ³ 以下	規制なし
カドニウム (Cd)	0.05mg/Nm ³ 以下	規制なし
鉛 (Pb)+銅 (Cu)+クロム (Cr)+マンガン (Mn)	1.0mg/Nm ³ 以下	規制なし

※ダイオキシン類の総量規制値：2μg/ごみ1t以下
(目標：1μg/ごみ1t以下)



4 ギャラリーイメージ



3 見学通路イメージ